

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

9

September
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



2019北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会



よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

2019北海道・東北ブロック支部長・ 地区会長交流会 in福島

参加報告



7月25～26日、北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会in福島が開催され、藤田建設工業(株) (藤田光夫代表取締役会長・福島同友会理事長)が運営する「スパホテルあぶくま」を会場に総勢88名が参加しました。山形からは5名が参加しました。

参加された方々の報告が寄せられましたので紹介します。

(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋 (代表理事)

福島県の白河市において7月25～26日で開催された北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会に参加してまいりました。初日は福島同友会の理事長でもある藤田建設工業(株)の藤田光夫会長の案内による施設見学から始まりました。会長のところでは、ホテル施設においてバイオマス発電による熱電併給に取り組んでおり、今後の日本における自然エネルギーによる産業発展の可能性を感じることができました。後半は、同じく福島同友会のフレスコ(株)の菊地逸夫社長による危機管理のお話を頂戴しました。拠点を原発事故発生現場にほど近い地区におかれているフレスコ(株)さんは、行政指導により営業することさえ許されない状況となる中、新たな仲間とのアライアンスや取り組みにより、宮城地区に積極出店された経緯や目的についてお話になられました。BCP対策の重要性を学ぶとともに、経営上の意思決定におけ

る経営指針の重要性と、経営者としての覚悟を学びました。

二日目は、北海道同友会くしろ支部幹事の北泉開発(株)の曾我部元親社長の報告で、社会問題になっていて駆除することしかできなかったエゾシカを養鹿し、地域資源として産業にまで作り上げるお話でした。長い時間軸で産業を作り上げてこられた取り組みは、我々経営者が見落としていた視点ではなかったかと思います。また、地域の課題に対し視点を変えることで価値に変えることができるんだと痛感した講演でした。

今回の交流会で感じたのは、やはり同友会メンバーが未来の地域経済の担い手として活躍し続けるとともに、その可能性を持つ仲間を拡大し、発展の一助となり、雇用を維持していくことで地域の持続可能性を高めていくことの重要性を痛感した二日間でした。



私は所要で一日目の参加しか出来ませんでした。しかしとても学びの深い交流会でした。

フレスコ(株) 代表取締役会長の菊地逸夫氏の報告でした。

同友会の三つの目的のひとつは「良い会社をつくろう」です。良い会社とは潰れない会社、そして法令順守できる会社、社員にきちんと給料を払える会社、そしてできればその地域の給与水準より少し多い給料の会社です。強靱な経営体質をつくろうと掲げている通り、きちんと給料を払えるように財務的にしっかりした会社をつくる為に勉強し、実践することだと思います。当たり前の事ですが

とても心に響きました。これが実践という事だと思いました。学んでそれをすぐ実践する。これが同友会の社長の学校だと思いました。

また、未来の見える会社にしたいという報告がありました。東日本大震災でお店も大変な被害を負いながら宮城県に出店して300億円の売上げを目指す社員の前で話をしたとの事。中々言えることではないと思いました。被災してですから。社員にとって先が見えること、経営者としては社員に未来を見せることが重要だと思いました。また、危機管理のお話では経営を維持する為の危機を取り除き、潰れない為にはどうしたらいいのかという事でした。

全てを予測することは不可能ですが、経営者として『人』『物』『金』『情報』について危機管理をしていくことは企業の存続の為にとても重要なことだと思いました。気づいた事を積み重ねて行く事、それがBCPだと思いました。

一度に全ての事はできませんが、この危機管理に対応する仕組みづくりにいち早く取組み、実践して行きたいと思います。参加させて頂き、有難うございました。

城北電気工事(株) 代表取締役 伊藤誠 (理事・山形支部支部長)

支部づくり事例報告として北海道同友会くしろ支部の北泉開発(株)曾我部元親社長の報告がありました。

くしろ支部の「地域の困り事は同友会で解決するという志」のもと、企業連携による仕事づくりはもちろん、産学官連携や時に市長も巻き込みながら「町の付加価値づくり」に取り組まれているという、条例活用の先進事例でした。

その中で曾我部社長が中心となり取り組まれている、エゾシカによる農作物被害、交通被害等の地域の困り事を解決するために立ち上げた事業の紹介がありました。エゾシカの駆除から始まった事業を、最終的には駆除したエゾシカの肉をご当地ハンバーガーにするなど観光資源や子供たちの学校給食、食育にも活用するまでに成長させた事例でした。

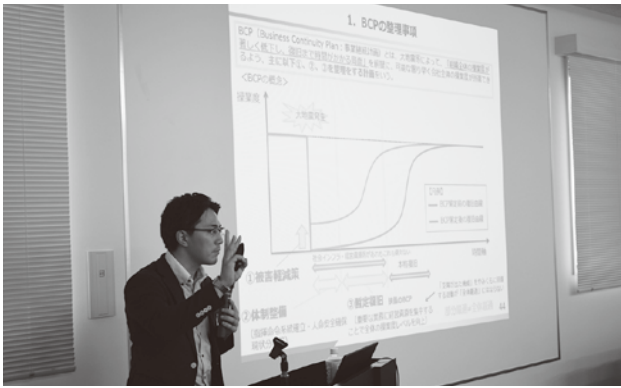
報告を聞いて、中長期的な視点にたち、条例を有効に活用しながら同友会企業が中心となり産学官が連携しながら地域の問題を考え解決していくことの必要性を強く感じることができました。また、こういった地域の問題や課題に事業継承しながらでも時間をかけることができるこ

とも中小企業の魅力であることにも気がつくことができました。

グループ討論では、「地域の課題を掴みそれを幹事会等で話し合われているか」との問題提起があり、経営者には条例をいかに有効に活用していくかなどの行政センスが必要であることに気がつくことができました。また現在の事業を継続するだけでなく、地域の課題を解決するという視点にたち考え挑戦していく企業が、本当に地域から必要とされる企業の姿なのではないかと、改めて振り返ることができた研修会となりました。



BCP(事業継続計画)セミナー 緊急時の対応に備えてBCP策定のポイントを学ぶ



山形同友会では7月29日に「BCP(事業継続計画)セミナー」を開催しました。6月に山形県沖を震源とする地震が発生するなど、全国各地で自然災害が起きています。今後の災害への対応と対策を考えるために開かれた本セミナーには30名が参加しました。

冒頭、挨拶に立った菅原代表理事は、「日頃から同友会の会員の皆さんは例会や委員会活動で自社の課題発見と解決のために学んでいます。さらに現在と今後のために必要なテーマについて全県で学び合う場をつくらうと学習会を開催していくことになりました。今回のテーマはBCPです。必要と言われているが、山形では大きな災害が少なかったこともあり認識が薄かった。ぜひ学んだことを持ち帰り、自社のBCP計画に活かしていただきたい」と語りました。

BCP策定の必要性

セミナーでは、講師に三井住友海上火災保険(株)・MS&ADインターリスク総研(株) 主任コンサルタント 矢野喬士氏を迎え、「過去の事例から学ぶBCP策定のポイント」と題してお話をいただきました。

はじめに矢野氏は、熊本地震、大阪北部地震、西日本豪雨といった過去の事例から教訓として「ハザードマップ」「旧耐震構造物に対する耐震補強」「建物・設備・社会インフラ対策」「余震を想定した対応」「ヒトが参集しない前提の対策」「非被災地からのサポート」「現地復旧戦略以外の戦略」の重要性を紹介しました。

次に「BCP(事業継続計画)とは、災害や事故により組織全体の操業度が著しく低下し、復旧まで時間がかかる局面を前提に重要な業務が中断しないように、または中断してしまった場合に早期に再開できるように作成された文書類である」とBCPの定義について触れ、「会社として従業員、顧客・取引先、地域産業に対して、命・生活に対する責任

と経済活動に対する責任を果たすためにBCP策定が必要である」と語りました。

また、中小企業でBCP策定が進まない理由としてはスキル・ノウハウ不足、人材不足から諦めてしまっていることをあげ、今後においては取引先からBCP策定を要請されることが増えると予想されると指摘しました。

段階的な策定

山形県においては、地震、水災、火山泥流の災害リスクがあることと、それを調べるためのサイトを紹介し、まずはハザード情報を調べ、現状を整理すること。計画では①操業度が落ちないように設備の固定や人命の安全確保の対策で被害の軽減策を立てる②災害における体制の整備(指揮命令系統を確立する、人命の安全確保、素早い現状把握をする)③暫定復旧(同時に全てを復旧するのは難しく、重要な業務に経営資源を集中して再開するため、会社として何が重要なのか全体最適なのかを考える)という三つのポイントをあげました。

そして、矢野氏は「BCPの整備は最初から全部やろうとはせずに、出来るところから出来る範囲で段階的に進めるのが策定のコツ」と強調。段階としては、「前提 リスクの認識」「STEP1 緊急時の体制を構築」「STEP2 人命安全の確保の徹底」「STEP3 すばやい現状把握(情報把握のためのツールの準備)」「STEP4 狭義のBCPの整理(重要業務の特定と優先順位づけ。緊急時に全体最適が実現できるように課題の抽出と対策の検討)」とし、各STEPにおけるポイントを説明しました。

参加者からは、「BCPが大切であるとは思っていたが必要性を痛感した」「事前対策の必要性とリスク管理を整理することを考える機会となった」「自社のBCPを見直すにあたり、大変参考になった」「すべてを作成するのは難しいが、出来ることから計画づくりをすることの必要を感じ、第一段階から始めたい」といった感想が寄せられました。



山形支部

原点に戻り、未来に向かう。

2019.9.30(月) 18:30~21:00

場所: 山形ビッグウイング 4階 研修室
山形市平久保100 ☎023-635-3100

報告者: (株)アルファ・コム 代表取締役社長 佐藤淳氏

経営コンサルタント業を営むアルファ・コムの佐藤社長は、大学を卒業後に金融機関に勤めた後にアルファ・コムへ入社する。

佐藤社長の今も変わらない原点は「山形をよくしたい! 地元企業を何とかして支援したい!」だった。金融機関では実現できないと今の会社へ入社し、経営者となる。その中で、何度も「違い」にぶつかる。社員と経営者、経営支援と実際の自社経営の違いなど、多くの壁にぶつかりながらも未来を見据えながら、実践を繰り返してきました。そして、次の事業展開も見据える佐藤社長の報告になります。お誘いあわせの上、ご参加ください。

山形支部【セミナー】

2019.11.26(火) 18:30~20:00

場所: 山形テルサ 3階 研修室A
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

講師: 山形市売上増進支援センター「Y-biz」
プロジェクトマネージャー 尾上雄亮氏

さくらんぼ支部

**親父カラーから自分カラーへ
～先代の想いを引き継ぎ未来へ紡ぐ～**

2019.9.25(水) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0223

報告者: (株)山形ビッグファーム 代表取締役 阿部秀顕氏(山形支部)

9月例会では、報告者として山形支部より(株)山形ビッグファームの阿部社長をお迎えし報告いただきます。

9年前に同社の二代目として社長に就任。就任後、トップダウンの組織、社員の自主性が無い社風に課題を感じます。そこから同友会の経営指針をつくる会を受講し経営指針書を作成。完成した指針書を社員と共有して、会社の方向性を社員に明確に示し、社長と社員が同じ方向を向いて働く会社へと少しずつ社内改革を進めていきました。

二代目社長として苦悩しながらも先代の想いを引き継ぎつつ、自分の想いも乗せ、社員と共に地域になくてはならない会社へと成長してきた阿部社長の報告です。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

庄内支部

市場激変の時代、コト売りの深化へ挑戦中

2019.9.27(金) 18:30~21:00

場所: 鶴岡市勤労者会館 大会議室
鶴岡市泉町8-57 ☎0235-25-2548

報告者: (有)寝装こでら 代表取締役社長 小寺祐也氏

父親の急な他界により小寺氏が社長に就任した当時の会社は、寝具の訪問販売で好調だったかつての業績が悪化し、16名いた社員は3名まで減っていました。新たな事業展開の必要を感じ、悩んだ末「睡眠を売ること」をテーマに「睡眠屋こでら」を開店。その後、同友会に入会し経営指針書を作成。一人ひとりに快眠を提案し、モノ売りからコト売りへ転換を図ってきました。現在では布団の打ち直しやリフォームなどの相談に応じ、山形だけではなく県外からの問い合わせも多くなっています。市場・顧客の変化にどう対応していくのかを小寺氏の報告をもとに考え合います。

寒河江支部

**人口減少社会における事業展開
～人の支援から地域の再生まで～**

2019.9.25(水) 19:00~21:00

場所: 寒河江市技術交流プラザ 2階
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: 特定非営利活動法人あじさい 事務局長 伊藤茂氏

グループホーム「あじさい」、サービス付き高齢者向け住宅「つつじの家」などを運営する NPO 法人あじさい。伊藤事務局長は代表理事とともに地域福祉の向上に取り組んできました。

いま、あじさいは認知症のお年寄りから学んだことや人口減少社会への思いを胸に、新たな事業を展開し始めています。

縮小していく地域の中で、あきらめない支援を続けている実践から学びあいます。

是非お誘いあわせの上ご参加ください!

置賜支部

同友会で学び、どう実践してきたか

2019.9.27(金) 18:30~21:00

場所: 伝国の杜
米沢市金池3-1-14 ☎0238-21-6111

報告者: (株)長沢建設 代表取締役 長澤武氏

後継者として入社後、2002年に38歳で社長に就任。2007年に同友会に入会後、例会をはじめ各種セミナーや講演で学びます。リーマンショック、東日本大震災と情勢が変化していく中で、「このままではいけない!」と、2013年に経営計画と経営理念を作成し社員に発表します。すると、長年勤めていた社員が退職。危機感を抱いた長澤氏は社員を集め、今後について話します。そして、実務的な仕事を社員に少しずつ任せながら、10年年表を作成し、採用に力を入れて取り組んできました。

「かつては名ばかりの社長だった。経営者の一番の仕事は決断であり、好循環をつくるために学ばなければならない。支部長をしたことで同友会の県外の仲間とも交流ができた。経営者には学ぶ時間が必要」と語る長澤社長の報告をもとに、経営者の責任と仕事を考えます。

新庄最上支部

**あなたの会社、働き方改革進んでいますか?
～労務管理上のグレーゾーンとその対応～**

2019.9.24(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室
新庄市金沢町15-11 ☎0233-23-0197

報告者: 社会保険労務士法人ルート企画
代表社員 菊地仁士氏(さくらんぼ支部)

2019年4月より働き方改革関連法案が順次施行されております。皆様のもとにも様々な情報、要請が届いているのではないのでしょうか? 我々経営者にとって避けて通れない労使の課題ですが、情勢を捉え、正しい情報を得ることこそ、労使共に安心できる職場環境を築くファーストステップではないのでしょうか?

今回はさくらんぼ支部の菊地社労士より今知っておくべきポイントを交えながらお話しいただき、すぐ経営に活用できるヒントを頂きたいと思います。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

第4回理事会報告

◆日時:2019年8月21日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:志田副代表理事
◆出席者:(敬称略):川合、菅原、志田、赤塚、阿部(秀)、石川、板垣、伊藤、越前屋、小川、斉加、笹林、佐藤(淳)、佐藤(栄)、佐藤(啓)、庄司、武内、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

菅原代表理事が組織目標に向けて純増で進んでいることを報告し、「各委員会の取り組み、組織委員会が主導したBCP学習会などの企業課題に即した取り組みなど、良い方向に向かっている。会の活性化にむけた議論をしていこう」と述べました。

■報告事項

- 1)第51回中同協定時総会報告(文書報告)
- 2)北海道東北ブロック支部長地区長交流会7/25~26(白河)6名参加
伊藤理事が採石業の北泉開発(株)・曾我部社長(北海道同友会くしろ支部所属)の農作物被害・交通事故の原因となっていたエゾシカを食用として利用する報告で、地域の困りごとと解決に向けて強い意志を持ち、同友会仲間企業連携し、産学官連携をしながら町の付加価値づくりをしてきた取り組みから、長期的視点に立ち、条例を有効活用していくことが重要であることを学んだ。討論では「地域課題をつかんで幹事会などで話し合っているか」との問題提起があり根底にあるのは地域の課題解決であることを再確認したと報告しました。
- 3)北海道道北ブロック代表者会議7/26 2名参加
菅原代表理事が、ブロック交流会のまとめではエネルギーシフト実践事例として藤田建設工業(株)の施設見学から、北泉開発(株)の地域の資源を再利用するという視点、フレスコ(株)の報告からは危機におけるマネジメントなどの経営判断の重要性について深く学んだ。次の交流会は宮城が開催地で、意識の高い方が集まり、本質的な議論ができる場で多くの方に参加を願いたいと報告しました。
- 4)2019年度7月月次決算報告(矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会3名 退会1名 8/21現在419名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

菅原代表理事が組織委員会の報告として「入会リストで状況を確認しFAXなどで定期的に情報発信しながらフォローしていくこと」「会員からの紹介を増やしていくために例会で依頼していくこと」「企業訪問されることで課題を導き出し、取り組みが進んだという例もあり、そのような展開が進めば会員間交流、切磋琢磨しあう関係づくりが進むのではないかとといった企業訪問の重要性」について話し合われ、「紹介者リストの精査」「例会時に対象者紹介カードの記入をお願いする」「支部会員への積極的訪問」「役員がグループ長研修の講師を務められる資料、体制づくり」「支部会員への積極的訪問」に取り組んでいくことが決まりました。

議題2:2019役員研修会について

川合代表理事より出欠回答状況の確認と、参加呼びかけの要請がありました。

議題3:全県での学習会について

菅原代表理事より7/29のBCP学習会の報告と、8/23の情勢学習会への参加呼びかけがあり、以下の学習会の開催について承認されました。
人とロボットが共生する社会【各業界におけるロボットの活用事例とヒント】
~スマート化が進むビジネス環境で、中小企業経営者は何を考えるべきか~

- 日時:10月28日(月)18:00~ ●会場:TISカンファレンスルーム
- 講師:特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)メンバーシップマネージャー 佐々木剛氏(さくらんぼ支部)

議題4:第16回経営研究集会について

実行委員長の阿部理事より実行委員会の状況について報告があり日程案と会場案がままりました。

議題5:2020新春交流会について

実行委員長の石川理事より大久保氏と吉田氏を副実行委員長に、講師として三承工業(株) 代表取締役 西岡徹人氏に依頼する提案があり承認されました。また、日程案と会場案が決まりました。

議題6:インターンシップ関連について

佐藤(啓)理事より2019年度は山形大学の1年生61名を37社で、東北芸術工科大学の学生11名を11社で、地方と東京圏の大学生対流促進事業により神奈川大学の学生2名を2社で受け入れ、インターンシップを行うことが報告されました。

また、米沢市委託「米沢地域人材確保・定着促進事業」・「置賜地区雇用対策協議会」事務局より管内企業にインターンシップを広げていくため、同友会に事例紹介などの協力依頼があったことについて検討され、受け入れが承認されました。

議題7:中同協役員研修会の取り組みについて

川合代表理事から10月3日(木)~4日(金)に秋田温泉さとみを会場として開かれる中同協役員研修会の説明と参加呼びかけがありました。

■その他

- 1)報告依頼の件
・10月11日、鹿兒島同友会第29回経営フォーラム・分科会で佐藤求人委員長が、共同求人活動と社員育成について報告
- 2)今後の予定
- 3)次回理事会

●日時:9月11日(水)15:00~17:00 ●会場:同友会事務局

中同協組織強化交流会「会員増強決起集会」	8月22日(木)13:00
情勢学習会(スモールサン共催)	8月23日(金)17:30~TISカンファレンスセンター
役員研修会 第1講	8月27日(月)13:00~TISカンファレンスセンター
第6回経営労働問題全国交流会	8月29日(木)~30日(金)岩手
中同協・経営労働委員会	8月30日(金)13:00~岩手
第24期経営指針をつくる会第4講	8月31日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
中同協女性部連絡会	9月2日(月)~東京
中同協共同求人・社員教育合同委員会	9月5日(木)13:30~東京
中同協共同求人委員会	9月6日(金)9:00~東京
中同協社員教育委員会	9月6日(金)9:00~東京
第47回青年経営者全国交流会	9月12日(木)~13日(金)熊本
役員研修会 第2講	9月19日(木)13:00~TISカンファレンスセンター
山形大学学内合同企業説明会	9月24日(火)午後 山形大学
山形大学成果報告会	9月27日(金)午後 山形大学
中同協・役員研修会	10月3日(木)~4日(金)秋田
第24期経営指針をつくる会第5講	10月5日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
第2回東北青年経営者フォーラム	10月12日(土)13:00~郡山

■閉会挨拶

川合代表理事が「同友会活動は自分のためという前向きな考え方でお願いしたい。会員の方々を知るためにも会員企業の訪問をしていこう。これは役員の特権でもある。積極的に訪問することで気づきや情報を得ることができる。地域のため、自社のため、同友会のため、頑張っていきたい」と述べました。

新会員紹介

◇ 結城 生馬 氏

(株)ティスコ運輸 常務取締役
運輸業
山形支部

◇ 阿部 寛 氏

(株)建託アベ 専務取締役
不動産業
寒河江支部

◇ 京野 和也 氏

(有)京野工藝 専務取締役
看板製作業
新庄最上支部

役職変更

- (有)延味建設 専務取締役
⇒ 代表取締役
延味義孝氏(庄内支部)

会員変更

- (株)アサヒマーケティング 代表取締役 岩見信弘氏 ⇒ 部長 丸子芳史氏(山形支部)
- 未来工業(株)山形工場 工場長 桐山寛氏 ⇒ 工場長 神崎浩志氏(寒河江支部)
- (有)キュービット 代表取締役会長 伊藤武昭氏 ⇒ 代表取締役 松木茂徳氏(置賜支部)

同友やまがた9月号 (2019年9月1日発行/通巻318号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp



山形県中小企業家同友会

委員会だより

2019年度第2号 2019.9.1 発行
山形県中小企業家同友会
山形市漆山大段 1865-5 TIS BLDG.201
TEL : 023-615-8302
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

【女性部会】

女性部会では、年に6回、平日の昼間に、女性経営者・女性幹部社員・女性を雇用する男性経営者が集って学び合っています。

ある日の例会では、偶然、社長である父に急逝され、意図せず承継することになった女性が2名同席されました。くしくもその日の参加会員のなかにも後継者が多く、それぞれのライフステージの中での仕事との向き合い方、会社経営者になるストーリーが語られました。

女性部の学びのスタイルは「涙あり、笑いあり」「心を開く天才」「癒しの場となる例会」！！
会員の例会報告とグループ討論の中で、いつしか言えなくなっていた悩みを引き出してもらい、語り合い、先輩会員の経験談という事例に学ぶ、互いに成長しあう機会がここにあります！！

子育て中や、夜間は家事で忙しい方でも大丈夫。13:30からの開催で業務時間に開催しているので、幹部社員さんも残業なく参加できます。

次回例会は、9/24 テーマは「突然の事業承継。覚悟を決めて奮闘中」取引企業の成長したい女性経営者もご紹介お待ちしております。

【第3回女性部例会のご案内】

テーマ：突然の事業承継。覚悟を決めて奮闘中
報告者：(株)ナコン 代表取締役 武田由香理氏

突然、父である社長が倒れて他界し、引き継ぎもできないまま2008年に社長に就任。しかし、当時はリーマンショックで仕事が激減、さらに社員の反発もあり、厳しい局面に立たされます。

人を雇用する難しさにぶつかり、経営者の仕事とは何かを模索する中で同友会に入会。学びながら経営者としての覚悟を決め、社員と同じ方向をめざすために経営指針をつくり、職務・職責を明確にしながら組織づくりを進めてきました。

数々の困難を乗り越え、社員と共にチャレンジする武田社長の報告に学び合います。
男女ともに会員の皆さま、経営者夫人、幹部社員様お気軽にご参加ください。

- と き：9月24日(火) 13:30～15:30
- ところ：山形同友会事務局

【お申し込み先】

山形県中小企業家同友会事務局

Tel:023-615-8302 fax:023-615-8304 メール：info@yamagata-doyu.jp